

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 3 月 27 日(2025.3.27)

【公開番号】特開 2025-20514(P2025-20514A)
【公開日】令和 7 年 2 月 13 日(2025.2.13)
【年通号数】公開公報(特許)2025-027
【出願番号】特願 2023-123968(P2023-123968)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和 7 年 3 月 18 日(2025.3.18)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

所定の抽選条件が成立したか否かを判断する判断手段により、前記所定の抽選条件が成立したと判断されることに基づいて、当否抽選を実行する当否抽選手段と、
前記当否抽選の結果に基づいて、所定期間の変動表示を実行する変動表示手段と、
前記当否抽選の結果が特定結果であった場合に実行される特定の表示結果を表示する特定の変動表示の終了後に特定遊技状態を実行する特定遊技実行手段と、
前記所定期間の変動表示中に複数の演出要素を用いて変動演出を行う演出実行手段と、
前記演出実行手段と電氣的に接続され、前記演出実行手段に対して遊技者による所定の入力可能な入力手段と、を備えた遊技機であって、
本遊技機は、
所定の入力可能状態において、所定の検出対象が所定の検出部に対して所定の距離まで近接または当接した場合に所定の検出状態となる検出手段と、
前記検出手段が前記所定の検出状態となった場合に少なくとも所定の出力を実行可能な情報出力手段と、
所定の遊技状態の進行に応じて所定数値情報を更新可能な数値情報更新手段と、を備え、

30

所定の出力条件が成立した場合に、前記情報出力手段によって、所定の記憶部に記憶された情報であって前記演出実行手段への所定の情報の入力に対応した複数の情報を出力するよう構成され、
前記所定の情報の入力が実行されて特定状態が発生した後に、前記数値情報更新手段の前記更新に基づいて前記所定数値情報が特定数値に更新された場合に、前記特定状態に対応した識別情報を出力する特定出力状態を発生させ得るよう構成され、
前記特定出力状態において特定の期間が経過した場合は、前記識別情報の出力を終了して特定処理を実行することを特徴とする遊技機。

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0002
【補正方法】変更
【補正の内容】

50

【 0 0 0 2 】

従来、複数の絵柄を変動表示する変動表示手段を備えた遊技機が知られている（例えば、特許文献 1 参照）。この遊技機は、作動口（始動入球手段）に遊技球が入球することによって、大当たり抽選などの所定の抽選を実行するとともに、絵柄の変動表示を開始する。遊技機は、例えば、大当たり抽選に当選した場合には、特定の絵柄の組み合わせ等を変動表示手段に最終的に停止表示させるとともに、遊技者にとって有利な特定遊技状態に遊技状態を移行する。この特定遊技状態では、遊技機は、例えば、遊技球が入球可能な状態に可変入賞装置を移行させることによって、大量の遊技球を払い出している。

ところで、このような遊技機は、絵柄の変動表示を開始した後、特定遊技状態に遊技状態を移行するのではないかと遊技者に期待させるような演出を実行している。また、遊技機は、遊技者の嗜好に応じて演出に関する情報の設定を実行することができるようになっている。

10

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 4

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 4 】

しかしながら、このような遊技機において、遊技者の嗜好に応じて演出に関する情報の設定を実行する方法は、遊技機ごとに多様化しているだけでなく、遊技者にとっては利便性の低いものとなっているので、更なる利便性の向上を求められているという問題がある。

20

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 5

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 5 】

本発明の目的は、遊技者の利便性を向上させることができる遊技機を提供することである。

30

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 6 】

本発明の遊技機は、所定の抽選条件が成立したか否かを判断する判断手段により、所定の抽選条件が成立したと判断されることに基づいて、当否抽選を実行する当否抽選手段と、当否抽選の結果に基づいて、所定期間の変動表示を実行する変動表示手段と、当否抽選の結果が特定結果であった場合に実行される特定の表示結果を表示する特定の変動表示の終了後に特定遊技状態を実行する特定遊技実行手段と、所定期間の変動表示中に複数の演出要素を用いて変動演出を行う演出実行手段と、演出実行手段と電氣的に接続され、演出実行手段に対して遊技者による所定の入力可能な入力手段と、を備えた遊技機であって、本遊技機は、所定の入力可能状態において、所定の検出対象が所定の検出部に対して所定の距離まで近接または当接した場合に所定の検出状態となる検出手段と、検出手段が所定の検出状態となった場合に少なくとも所定の出力を実行可能な情報出力手段と、所定の遊技状態の進行に応じて所定数値情報を更新可能な数値情報更新手段と、を備え、所定の出力条件が成立した場合に、情報出力手段によって、所定の記憶部に記憶された情報であって演出実行手段への所定の情報の入力に対応した複数の情報を出力するよう構成され、所定の情報の入力が実行されて特定状態が発生した後に、数値情報更新手段の更新に基づ

40

50

いて所定数値情報が特定数値に更新された場合に、特定状態に対応した識別情報を出力する特定出力状態を発生させ得るよう構成され、特定出力状態において特定の期間が経過した場合は、識別情報の出力を終了して特定処理を実行することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、遊技機は、遊技者の利便性を向上させることができる。

10

20

30

40

50